日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア本部　MC会報誌
PeekaBoo ピーカーブー
No.22
2009年6月25日発行

あいさつというケア

「あいさつをしましょう」

小さな子どもも保育園や幼稚園から教わることです。基本的生活習慣のひとつです。だから、たいていの人は、暗黙の了解であいさつをすることは大切であると理解しています。

しかし、実際にわかっていても「できている」となると変わります。スクーリングのビギナー編のときのことです。私は、講義も中盤に入ったころに、皆さんにいきなり一つの質問を投げかけます。「今日、隣の席の人とあいさつをした人は手をあげてください」と。皆さん、なんとなく気まずいという顔をされたり、隣の人と目を合わせて、微妙な確認をしながら恐る恐る手をあげたりします。それでも全員の手が気持ちよくあがったことは、かつて一度もないのです。これを読まれてびっくりする方が多いと思います。これが現実です。びっくりされた方もその場になったら、果たしてできるでしょうか？　ケアを志している方のための講座なのに、実に残念なことです。

「あいさつ」は、最初のファーストケアです。このファーストケアが上手にできれば、次のケアに進むことができます。でもこれができなければ、次にどんな方法をあてがっても思うような効果は得られないように思います。

人見知りだから……なんて言い訳をしていたのではケアになりません。誰もが初めての人に声をかけるのはドキドキするものです。でも、そんな一歩の勇気が流れを変えることがあるのです。チャイルドケアを学ばれて、ご自身のサロンなどのメニューにお考えになっている方も多いと思いますが、そうしたときに、チャイルドケアのメニューをみて子育ての悩みを相談に来られる方は、すでに悩みを誰かに打ち明けて、改善の努力しようとされているからまだいいのです。でも、本当にチャイルドケアを必要としているのは、密室子育て、孤立する子育てをされているなど、誰かとコンタクトをとることができない、しようとしていない方たちなのです。

そうしたときに笑顔で「こんにちは」とあいさつができ、「どうしたの？顔色が悪いみたいだけど大丈夫？」とか「うちの子と同じくらいのお子さんですね」などとコミュニケーションを図るだけでも、子育てストレスを解消してあげるきっかけになるのです。

笑顔であいさつが上手にできる人は、コミュニケーションが上手になります。自然に輪が広がり、仲間ができるものです。「あいさつ」は、人をつなげる魔法です。

ぜひ、「あいさつ」というファーストケアの達人になってください。

スクーリングで集まっている皆さんは、チャイルドケアに興味を持っている人ばかり。つまり集まった時点で、もう仲間です。偶然ではなく必然に存在した仲間だと思えば、自然にあいさつができるものです。スクーリング中に、ほんの1、2分のことですが互いにあいさつをしていただきます。すると、部屋の雰囲気が一変します。それまでの緊張感が薄まり、温かい雰囲気に包まれます。参加された方はそんな変化を感じたことでしょう。

次のスクーリングでは、最初からこんな空間になっていることを期待しています。参加される方は、とびきりの笑顔で待っていてください。

チャイルドケア講師　松本 美佳

イラスト／いとう ようこ

素敵なあの人から「きく・みる」を学ぶ

学んで、実践してきたチャイルドケアを伝えていきたい

CCI 金子法子さん × CCI 濱崎由美さん

本講座をしっかり伝え、受講生のサポートを担う CCI。金子法子さんと濱崎由美さんは、昨年の CCI 試験に合格し、新たなる決意をされました。そして、CCI として活躍していくために、CCC としての活動も充実させていらっしゃいます。そして、現在、今秋以降に開催する東京会場のビギナー編を担当するための準備を進めています。そこで、お二人の豊かな個性をご紹介するとともに、チャイルドケアを学んだ経緯から、伝える側になるまでの経歴をお話いただきました。現在学ばれている方も、お二人のように、本講座を伝える側になりたいと思われている方も多いことと思います。　皆さん自身が一歩進まれることで、同じようにチャンスの扉は開かれていきます。ぜひ、CCI のお二人からそんなヒントをみつけてください。

今後、CCI になられた方には、定期開催会場での積極的な講師活動をお願いすることになります。松本美佳先生は、今後、スキルアップ編や CCC、CCI の育成講座を中心に活動を展開していきます。そのためビギナー編を担当する機会が減りますことをご了承ください。今年上半期のスクーリング（東京・大阪・仙台・札幌）については、松本先生がビギナー編を担当します。ぜひ、この機会を逃さずご参加ください。

（CC 本部）

「チャイルドケア」を学ばれたきっかけは？

—●**金子法子さん**（以下敬称略）ちょうど第一子を妊娠していたときに、チャイルドケアの講座が立ち上がることを知り、タイムリーだと思い受講を決めました。その子ももう 10 歳になります。まさにチャイルドケアをしながらの子育てだったので、アロマやハーブティ、タッチケアやマッサージも自然に取り入れながら子育てをしてきました。

その後、下に双子の子どもができ、とても大変だったのですが、どこか余裕をもってできたのは、こうしたチャイルドケアを生かした子育てを経験してきたからだと思っています。

—■ **CC 本部**　では、チャイルドケア講座がスタートしたときからずっと、MC 会員として続けていらっしゃるのですね。

—●**金子**　そうですね。たくさんのことを気づき、経験させていただいています。

—■ **CC 本部**　続けられてきてよかったことはありますか？

—●**金子**　チャイルドケアは、小さな子どもだけのケアではなく、就学した子どものケアにも継続できますし、子育てをしているおかあさんのケアにもなります。そして、環境や、動植物へのケアなど、本当に多くのケアに気づかせてもらうことが多いのです。とても必要なケアだと思っています。以前スクーリングで、チャイルドケアに終わりはないと伺い、まさにそうだと実感しているか

らです。

―◆**濱崎由美さん**（以下敬称略）もともと、下町の浅草で育ったこともあり、転んでけがをしても、薬を塗るというよりは、舐めておけば治るという環境でした。７年前に父が病気になり、西洋医学での限界を知り、その後のケアというと、自然療法や人との関わりだったんです。そんな経験から、何かケアをすることを学びたいと思い、某リフレの学校に行きました。知識的に学び､技術も決まったことを教えてもらい、ある程度できると併設しているサロンにいくか、サロンの立ち上げを学ばされるんです。並行して、アロマの講座にも通ったのですが、やはりそこでも知識的なアロマを学び、資格はとったものの、何か違和感が残った終わり方だったんです。そんなときに近所のカルチャーセンターで「アロマとハーブを家庭で活かす」というテーマの講座を見つけました。その時の講師が松本先生だったんです。（※）アロマの知識は持っていましたし、教わることは基本的なことなのですが、知識的な使い方ではなく、何よりも役立つ実践型のスタイルに惹かれました。毎回楽しくて。だから、チャイルドケアというよりも松本先生に先に出会ったことがきっかけなんです。（笑）

―■**CC 本部**　では、先生の自然療法観などに興味をもたれたのですね。

―◆**濱崎**　そうですね。それまでは、施術も方法的に習い、アロマなどの自然療法も知識的に教わるばかりで、使い方もマニュアル的。柔軟に取り入れることができていなかったんです。資格もとっているので、気持ちはできると思っていたんです。そんなときに先生に出会い、自然療法は手軽で楽しいものであることに気づき、「これならできる！」と思えたのは、とても大きな変化でした。それでこの先生が伝えようとしているチャイルドケアって何だろうって興味を持ちました。すでに子どもは小学３年生だったんですが、受講には何の迷いもありませんでした。その後も先生のスクール（※）で学び続けていることもあり、先生が伝えたいことをお手伝いしたいと思ったんです。

（※）松本先生は、JAA の加盟校を主宰しており、さらに JAA 以外でも講師活動をされています。

「チャイルドケア」を学んでよかったことは？

―●**金子**　生まれたときからチャイルドケアを実践していたので、当然のようにタッチやマッサージをしている習慣がありました。以前、近所でベビーマッサージ講座があって、そこに参加したことがあるのですが、その時にほかのお子さんは、嫌がって逃げてしまうんですね。でもうちの子は、全然大丈夫なんです。ほかのおかあさん方に「なんでできるの？」と不思議がられたんですが、そんなときに「あぁ、いつもやっているからだ……」って、改めてチャイルドケアの効果を実感することがありました。そういうことが育児の随所で気づくことがあり、ほかのおかあさんよりも楽に子育てができているんだと思いました。自然に取り入れているので、肩肘張らずできていたのも良かったのだと思います。周りをみると、情報に振り回されていたり、良いことにも「これって本当にいいの？」みたいな不安をもったり。そんなときにちょっとアドヴァイスをしてあげて、喜ばれることも多かったんです。そうしたことが、現在講師活動をさせていただいているきっかけになっています。教えようと思ってやっていたのではなく、やはり伝えるという行為が、積み重なっていつのまにか形になっていきました。

―◆**濱崎**　私はまず、自分の育児を反省しました（笑）対象の子どもが 10 歳に近かったので、もっとこんなふうにしてあげればよかったと。あるい

プロフィール

CCI 濱崎（はまさき） 由美（よしみ）さん

チャイルドケア歴５年。14歳の娘の母。７年前に自然療法に興味をもち各所で学ぶうち、松本先生に出会い、そこから生活に密着した自然療法の楽しさを知る。そこでチャイルドケアも知り、講座を始める。その後、自身の子育てや周りの子育てのサポートができることを知り、経験や生活に密着したチャイルドケアを伝えていきたいとCCIとなる。２年前より、東京会場での託児ボランティアを担当し、託児ボランティアグループ「エプロン☆おばさん」のリーダーとして励んでいる。

CCI 金子（かねこ） 法子（のりこ）さん

チャイルドケア歴９年。10歳と７歳の双子の３人の母。第一子の誕生とともにチャイルドケアを始める。
その後、アロマと食育を中心に講師活動などをはじめ、子どもの成長とともに、よりチャイルドケアの必然性を感じ、自身の活動にチャイルドケアをより深めたものを提案するべく活動に励んでいる。

は、自分が窮屈な子育てをしてきたことに気づきました。そして、子どもとの関係を見つめなおしました。そうすると､ある時子どものほうから「おかあさん、変ったね」って言ってくれたんです。それと、周りにいる親子さんがいろいろ悩んでいることに気づくことも多くなり、ついつい世話好きな下町気質で「こんなふうにしたら？」とか「もっとママが楽になっていいのよ」って言えたんですね。自分がやってきた過ちをしないでほしかったので（笑）チャイルドケアは、人との関わりであり、生活に密着したもの。とても身近であり、大切なものだということがわかったのは、良かったですね。

CCCとしての活動もお聞かせください。

—●金子　実際に活動を始めたのは、下の双子が幼稚園に入って、時間ができるようになってからです。近くに子育てママを支援する事務所ができ、そこで講師募集をしていたので、登録しました。また、食育に興味をもっていたので、食育の勉強をして資格もとりました。アロマと食育を中心にした講座などを企画して開催していました。しかし、昨年宇都宮から東京に引っ越すことになり、今までしていたことがリセットされてしまったので、ここで何か再び行動しなければと考えました。そう自分に行動を起こすきっかけを与えないと、動けなくなってしまいそうだったので。ちょうどそのときにCCIの資格ができ、「チャイルドケアをちゃんと伝える人になりたい」と思いました。タイミングだったと思います。CCIをとったこともあり、さらに自信がついたこともあるんですが、現在、子育て支援の講座を立ち上げようと思って企画書を出したりしています。チャイルドケアに興味をもっていただくためのきっかけとして、まずはCCC活動をしていきたいと思います。

—■ **CC本部**　CCIをとったことは自信になったのですね。

—●金子　逆にもっと行動しなくてはいけないって思えるようになりましたね。

—◆濱崎　私は、２年前よりスクーリング時の託児ボランティアをさせていただいていますが、模索しながらも仲間ができ、自分たちのスタイルもできたので、これをもっとよい形で継続していきたいと思っているんです。もともと自分がスクーリングに参加したときに、小さいお子さんを同伴して来ているおかあさんがいて、なかなか講義に集中できない状況を見て、気の毒だなって思ったんですね。おかあさんの一生懸命さもわかるし、子どもの構ってほしい気持ちもわかる。そんなときに託児ボランティアの話があり、私にもできることをやってみようかな？と思ったのがきっかけです。お友達の子どもを預かることも多かったので。

—■ **CC本部**　おかげさまで、東京会場はいつも託児ができる環境になりました。また濱崎さんの活動を励みに他会場でも託児ボランティアとして協力してくださるCCCも増え、全会場での託児付きスクーリングも実現しつつあります。ありがとうございます。

—◆濱崎　私の子も一緒に託児に入ることもあるんですが、一人っ子なので他のお子さんとのふれあいは新鮮ですし、勉強にもなります。おかあさん方にも感謝されるので励みにもなります。もっとたくさんのボランティアスタッフが増えてくださると、小さな子どもがいて参加に迷っている方のサポートができると思うんです。実際にスクーリングを受けると、チャイルドケアの良さをもっ

と実感できるはずです。自分がダイレクトに指導する方法もありますが、私は、間接的にでも、こうしたお手伝いでチャイルドケアをサポートすることもCCCとして必要だと思っていますから、今後もそういう活動は続けていきたいと思っています。

―■ **CC本部**　前にいて指導することと後ろにいてサポートすることもCCCやCCIとしての役割ですからね。指導することばかりがCCC、CCIと思われている方も多いようですが、チャイルドケアは、寄り添うケアを大切にしていますから、どちらの資格も受講生や相手の立場に沿いながら考えていくことが必要です。お二人はとてもよく理解してくださっていますね。

CCIとして考える責任や希望はありますか？

―● **金子**　CCIの試験をして、改めて基本の大切さに気づかされることが多くありました。また自分の言葉で表現することを試されました。でも、改めて気づかされ、考える機会になり、表現することを学んだので、指導者になるために必要なことが整理されたように思います。こういうスタイルの試験は、良いと思いました。知識を覚えるだけでは、教えることは難しいです。これは私が教えるという立場を経験してわかったことです。また試験を通して、CCIの役割と責任の重さも感じましたが、このチャイルドケアの奥の深い部分をもっと伝えていきたいと思っています。スクーリング時に、できるだけいろいろな人と交流しようと思い、連絡先なども交換していますが、そうしたときに皆さんが迷っている声を聞くことがあります。交流会などを主催して、つながりを深める機会を作っていきたいと思いますね。

―■ **CC本部**　本講座の受講生も増え、講師一人では物理的にも、時間的にも難しいことが多くなりました。CCIの方には、受講生だけではなく、CCCのサポートと指導も今後どんどん行っていただきたいと思っています。

―◆ **濱崎**　私は託児ボランティアを通して、この2年の間でも、おかあさん方が変わってきていることに気づきました。まじめで意欲的に取り組まれる姿勢は素晴らしいのですが、子どもが泣いていても無関心のおかあさんが増えたように思います。預けているからということで割り切っているのでしょうけど。もっと子どもに関心を持ってほしいと思うことがありました。それを自分なりに上手に伝えていきたいと思っています。。スキルアップ講座に参加していても、CCCの資格をとっていらっしゃる方でも、実践、経験が少ないことがわかります。そういう状況が見えたので、私は実践ができる機会を増やしていきたいと思ってます。

―■ CC本部　お二人とも、チャイルドケアをしっかり学び実践されたことで、チャイルドケアで何を伝えなければいけないのかをしっかり把握させていますね。現在受講されている方や、CCCの方にとっても、とても心強い先輩になられていると思います。今後は、いよいよCCIとして活動する機会が増えてきます。積極性と謙虚さを忘れずに、ぜひ、本講座の素晴らしさを伝えてください。本日はどうもありがとうございました。

★CCI試験では、CCIとしての心構えや講師として可能性のある方を含め合格対象として審査しています。すぐに活動する自信がなくともCCIになられた方のために、本講座を伝えるために必要な情報や知識を、定期的に指導する講座を今後開催していきます。本部でもCCIとなった方には、講師として活動するためのサポートをしていきます。また、CCIのいらっしゃる地元でのスクーリング開催に向けての共催活動なども企画していく予定です。また、試験会場もスクーリング開催会場においての同時開催を現在検討しています。CCI受験にご興味のある方は、本部までお問い合わせください。

Q&A

CCI が皆さんの質問に答えます。チャイルドケアは、共感しながら、伝えながら、多くのおかあさんたちをサポートしていくものです。CCI の皆さんも以前は、同じように悩み、同じように疑問を持っていた受講生でした。そして、チャイルドケアの概念を理解し、深めたことで、今は同じ悩みをもった皆さんへ共感しながらお答えすることができます。ぜひ、そんな先輩からのアドヴァイスを参考にしてください。

Q 私は、自分に子どもがいないので、レポートをどのように進めていいのか迷っています。

A 私も子どもがいないですが、だからといってチャイルドケアを学ぶことができないわけではありません。レポートをまとめることで、子ども時代に弟や近所の子の面倒をみていたことなど思い出すきっかけになりましたし、今の自分の気持ちを書き出すことで、子どもについて、思ったり考えたりすることが多くなりました。

チャイルドケア講座は、学習上の便宜性のため、未就学の子どもが対象になっていますが、そのことばかりに固執することはないのです。実践中心のレポートになっているので、子どもの体調や足の大きさなどは、実践することはなかなか難しいかもしれませんね。そういう場合は、テキストを読んで思ったことや、過去の経験をもとに仕上げることもできますし、友人や近所に子どもがいれば、その子で行ってみてもいいと思います。そうすると、生活の中に子どもと触れ合う機会が増えるのでとてもいい経験になりますよ。ぜひチャイルドケアの良さをたくさん感じてくださいね。

CCI 野村

◎実習レポートはアレンジが可能です。できることを工夫してトライしてみてください。もし迷うことがあれば CC 本部にお問い合わせください。

（CC 本部）

Q 私は子どもと関わる仕事をしているので、子どものことはよく理解しているつもりでしたが、自分の子育てになると思うようにいかず、不安になります。

A 私も子どもと関わる仕事をしているので専門的な知識も十分備わっていましたが、長女を出産した時は不安で育児書をたくさん読みました。でも実際には、子育てするための難しい知識は必要ではなかったのです。子どもにとって、家庭の中のお母さんは非常に大きな存在です。そのお母さんが元気で笑顔でいればその波動を受け、子どもも元気で笑顔でいられるのです。また、日本は古くから、言霊（言葉にはパワーがある）が大切と言われるように、お母さんが優しく子どもたちに話しかけコミュニケーションを多く取り入れると、家庭の中が「居心地の良い場所」「安らぎの場」になるのです。

このような気持ちで接していると子育ても楽しくスムーズに進みますよ。チャイルドケアは方法論ではなく感性を豊かにして日々の生活を楽しむことがベースになっています。経験することで多くのことを学び知恵をつけ、それがいつの間にか自信に変わっていくと思います。私も同じように子育てをしながら育母をしていますので、焦ることなくお子さんと向き合っていってくださいね。

CCI 仲宗根

◎スクーリングで、松本先生は、「正しい子育てではなく、気持ち良い子育てをしましょう！」「自分の子どものことを知っているのは、専門家ではなく、おかあさんです」と、いつも話されています。本講座においても、正しいひとつの答えというものは設けていません。子ども一人ひとりを良く見て、知っていくことで、子ども一人ひとりの答えがあるからです。

（CC 本部）

CCI 紹介

野村 七重さん
東京都板橋区在住　未婚

チャイルドケアを学ぶ中で、子どもを型にはめ込むのではなく、お母さんが気負うことなく楽しみながらできるものであることに共感しました。子どもとのコミュニケーションを通して、人間関係についてみつめる機会にもなりましたし、アロマを生活に取り入れるためのヒントも沢山詰まっていると思いました。

仲宗根 千賀子さん
沖縄県沖縄市在住　子ども３人

人間が生きていくために必要な本質がチャイルドケアには詰まっているとつくづく感じます。仕事では理学療法士として障害を持った子どもたちと関わり、いのちの大切さなどを伝える機会を持っています。なかなか受け入れるのが難しい部分ですが共感してくださる方が増えてきていますので、これからも多くの方に共感いただけるよう励ませていただきます。

Schooling Report

上半期のスクーリングは、３月の名古屋会場よりスタートしています。スキルアップ講座は、全３回完結となり、今期はで最初のクールが終わります。名古屋会場では、３回続けて受講された方は５名いらっしゃり、積極的なお姿を拝見しました。全３回受講修了者には、記念の修了書を発行いたしました。

受講生のお子さんをモデルに刺激の仕方を実践する安彦先生

Nagoya

スキルアップ編を修了。でもまた参加します！

CCC 小笠原 理江 さん（愛知県　碧南市）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

今回で３回目の参加ですが、松本先生のお話しは毎回新鮮で、自分の中の母性がどんどん膨らんでくるのを感じています。先生の実体験を聴くことで、チャイルドケアの原点に立ち、より深くテキストの内容を理解することができました。特に自然療法ならではの「あてがうことを減らしていくマイナスのケア」のお話しは、普段ケアすることばかりを考えがちな私にとって大変な驚きで、視点の変わる出来事でした。

また、先生の熱いメッセージは子どもの生活環境を真剣に考えるきっかけにもなり、一見手の離れたような高校生の息子でも、まだ母親としてやってやれるケアがたくさんあるということに気づかされました。逆にこの年代だからこそ必要とされるケアを日常の生活の中で探していくことが今の私の喜びになっています。これぞ先生の「子育てに終わりはない」とおっしゃるお言葉通りなのですね。先日も９ヵ月の赤ちゃんを持つ友だちから「手が荒れていてマッサージできない」と言われ、「お母さんの手が一番だから大丈夫」と手のケアの方法とともにアドバイスをすることができました。今後もまだ草の根ではありますがチャイルドケアの手軽さと素晴らしさをより多くの人に伝えていきたいと思います。

スクーリングはテキストだけではわからない、その場でしか伝わらない不思議なパワーがあります。松本先生の笑いあり涙ありのお話しもさることながら、その明るく元気で温かいお人柄に勇気や元気をもらい、次のスクーリングが楽しみになるほどです。参加される方の年代も、新米ママからお孫さんがおられる方まで幅広く、いろいろなお話しが聞けます。まだ参加されたことのない方、ぜひ気軽に参加されてみてください。全国の仲間が待っていますよ！

夫婦で初参加は、貴重な経験に

受講生　横山 晃子 さん（静岡県　磐田市）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

　子どもが生まれたら、自然なものを取り入れて育てたい！！と思っていました。今回、名古屋のスクーリングに参加したいことを夫に伝えると、「行こう！行こう！俺も参加したいし、ずっと抱っこしているから､安心してよ！」と､夫に言われて、８ヶ月になる娘と３人で初めての遠出でドキドキして出かけました。

　今まで、初めての子育てを頑張らなくてはと、体も心も力が入っていたのですが、松本先生のお話を聞き、す〜っと、力が抜けました。そして自分らしくあればいいんだと気づき、私も母親として一緒に育っていこうと思うようになりました。

　スクーリングに参加された方や先生がとっても温かく接してくださり本当に参加して良かったと思うのと同時に、また是非参加したいと強く思いました。そしてなにより、いつも育児を一緒に楽しんで、私を支えてくれる夫に感謝の気持ちでいっぱいになりました。スクーリングでたくさんの気づきをいただいたので、これからの励みにしたいと思います。私のように小さいお子さんをお持ちの方は、外に出るのも大変だと思いますが、思い切った分だけきっと「いいこと」があると思いますので、ぜひクーリングに足を運んでいただきたいな〜と思っています。

ビギナー編を一般で参加後、迷わず受講を決意

受講生　香月 礼 さん（愛知県　春日井市）

＊＊

　以前からベビーマッサージに興味があり、妊娠中からネットでベビーマッサージの DVD やキャリアオイルを購入して用意していました。しかし子どもが生まれると、想像以上に育児は大変でした。息子の夜泣きが凄くて睡眠不足の毎日でした。マッサージどころか、子どもとゆっくり向き合う時間が持てず、結局のところ、実際に DVD を見たのは２回だけでした。オイルの付いた手ではリモコンも操作しにくく、何よりも画面を見ながらマッサージするのは「何か違うな」と感じたからです。

　息子が１歳を過ぎると、自分の時間が少し持てるようになり、以前から気になっていたチャイルドケアを学んでみようか？と考えるようになりました。そしてスクーリングに一般で参加しました。

　松本先生のお話は実体験が多く、とても分かりやすかったです。特に、親の緊張が子どもにも伝わるという話しは、今思えば、息子が夜泣きしていたとき、私自身かなりのストレスを溜めていたことを思い出しました。その他にも共感することも多くあり、スクーリング後、早速、受講を始めました。これからいろんなことを学んでいきたいと思います。

みんな違って、みんないい

CCC 飯塚 亜希さん

福島県在住。磐梯山と猪苗代湖に囲まれた森の中で、「子連れ大歓迎！」のペンション「セラピーイン　ダカーポ」を営んでいます。いろんなご家族との出会いの中、日々学ばせていただいています。

http://www.1830.jp/

「豊かな自然に囲まれて美味しい料理とセラピーでリフレッシュを」。そんな思いで、ここ磐梯山麓でペンションを始めたのは７年前。

それから１年後に長女に恵まれ、このチャイルドケア講座に出会いました。ひとまず課題は提出したものの、うまく活かせられず、生活の中ではしばしお休みしたままでしたが、３年後に次女を出産した産院でベビーマッサージに再縁してから、その良さに目覚め、ママ友の応援やクチコミもあって、ベビーマッサージ教室を開かせていただきました。

その中で「子育て中のママにゆっくりしてもらいたい！」「パパママには絶対リフレッシュが必要！」と自分自身の子育て中の想いを胸に、『子連れ大歓迎！ママはエステでリラックス！』をテーマにしたペンションとして日々お子さまたちと楽しませていただいています。今ではお陰さまで、約９割がお子さま連れのお客様で大変賑やかです！

さて、６年前にチャイルドケアを受講した時に、うまく活かせられなかったのは前述のとおり……。テキストの内容に戸惑ってしまって。記してある「家庭」が、あまりにも「自分の家庭」と違っていたのです。ママの場所であるキッチンは、我が家では料理人のパパの場所ですし、仕事もあったり何やらかんやら……。思うようにいかない理由って、たくさんありますよね。

でも次女が生まれ、あまりにも性格の違う二人を育てる中で「みんな違う」ってことに気づけました。家庭も環境も子どもも親もみ～んな違う。だからこそ「チャイルドケア（家庭）には答えはない」なんですね。

きっと私と同じようなポイントで悩んでおられるママもいらっしゃるのではないでしょうか？

実際、我が家の家庭状況を見て「そんなのもアリなんですね」と安心してくださるパパママさんもおられるようです。

「みんな違ってみんないい」。

子どものことだけでなく、ママとしての自分も、パパのことも、○○家の家庭の事も。そう思えたら、自分のケアが楽しくなって「うちン家が一番！」と言えることでしょう。

そして家族みんなが笑顔で楽しくなれる。チャイルドケアのハッピースパイラルがまた一つ増えて行きますようにと、願っています。

薬は愛のエッセンス

受講生 城　富子さん

埼玉県さいたま市在住。さいたま市内の小児科でアシスタントナースとして働き、日々、子どもたちの体と心の健康づくりを応援しています。主人がバングラディッシュの人なので、近い将来、現地の子どもたちと触れ合う場を提供できればと考えています。

私は、子どもと関わった仕事がしたいと３年前から今の職場で働いています。子どもを授からなかった私は、毎日子どもたちと触れ合うことで喜びを感じています。

熱を出してぐったりしているお子さんや、熱があっても遊んでいるお子さんなどさまざまですが、その中でも点滴をしなければならなかったり、採血をしなければならなかったりする場合は、必ず“なぜか？”を説明します。そして頑張った後には「偉かったね。」と抱きしめています。時には、お母さんからお子さんへ安心感を与えるために、頑張れの“ギュ”をしてもらっています。終わった後は、「僕、頑張れたよ」と泣くのを堪えた子どもの顔を見て、お母さんが涙ぐんだりしています。

また、点滴をしているお子さんにポイントマッサージをしながらお母さんにお伝えしています。お母さんも喜び、お子さんも気持ち良いのか眠ってしまいます。

左側が城富子さん

最近の出来事では、たまたま私が受けた電話で、とあることがありました。大きな病院に問い合わせたものの午後から休診だったので近くの病院を勧められたとのことで当院に来られました。緊急を要する事情でしたが幸い大事には至ることはありませんでした。その方は安心されたのか、我が子をギュと抱きしめ一点をみつめていました。その姿に大きな愛を感じました。それと同時に、お母さんがご自身を責めていないかが気になった私は、お母さんの背中に手をあてました。手から伝わってきたのは安堵感でした。その後、マッサージや食事などの話しをさせていただきました。帰り際、お母さんは私の手を握りしめて、「ありがとうございました」と何度も繰り返し泣いていました。その手からは、子どもを想う強さと偉大な愛を感じ、見えない「へその緒」がしっかりと繋がっているんだと思い、胸が熱くなりました。

毎日色々なことに気づかされ感謝でいっぱいです。これからもたくさんの子どもたちと触れあって学んでいきたいと思います。そしてなにより、どんな薬よりもお母さんお父さんの愛が一番だと思っています。これからも仕事を通して、親子の絆を深めるためのサポートができればと思っています。

託児ボランティア

CCC同士の友情と協力で福岡会場でも託児付きスクーリングが実現！

先日行われた福岡会場において、CCC 三宅かおるさんと、CCC 鈴木朋子さんのご協力により、託児付きスクーリングが実現しました。お二人は、以前スクーリングに参加されたときに知り合い、交流を深めてきたそうです。今回の託児ボランティアは、そんなお二人の友情があっての実現となりました。鈴木朋子さんは、広島から託児ボランティアのために参加してくださいました。CCC の心温かいご協力によって、スクーリングも支えられています。

ちょっとしたお手伝いでも喜んでくれる人がいます

CCC 三宅かおるさん

スクーリング前に、託児希望の方が数名いらっしゃるとCC 本部から連絡があり、私は午後のみの参加でしたので、午前中の時間を調整して託児の協力をさせていただきました。

ただ、友人の子どもしか預かったことがなかったので不安もありましたが、'同じチャイルドケアを学ぶもの同士の子ども＝友人の子ども' という感覚でお引き受けしました。

子育て中、自分の時間が限られ、いろいろな挑戦に躊躇してしまう状況があることは、私も同じように通ってきた道なのに忘れていることも多く、託児ボランティアを通して、原点に戻ったような気がします。CCC のちょっとしたお手伝いで、そういったことを少しでも可能にできるのでは……と改めて実感しました。

また、以前より交流があった鈴木さんへも呼びかけ一緒に託児に入ってもらいました。彼女は、朝早くから広島から駆けつけていただき本当に感謝しています。この恵まれた環境をもっともっと皆さんと共有できればと思います。まずは協力し合える託児から、横のつながりを一緒に深めていきましょう！

託児があったから安心して受講ができました

託児利用　受講生　土谷 麻美さん　6ヶ月・女の子

大分から1泊かけて来ましたが、託児がなければ1日中の参加は難しかったのでとても助かりました。

ぐずりやすいので大丈夫かなぁと心配していましたが、ボランティアさんがとても親しみやすい方で、私の緊張もすぐにほぐれ、子どももなついていました。

スクーリングも安心して受けることができましたし、育児の悩みなども聞いていただき、とても内容の濃い1日になりました。どうもありがとうございました。

託児付きスクーリングの開催にご協力ください！

当初は、東京会場のみで行われていた託児付きのスクーリングも、各地域のCCI、CCCの方々のご協力により、託児付きスクーリングの環境が整ってきました。現在、東京、名古屋、札幌、福岡と実現しております。

今後のスクーリングにおいても、継続して託児付きの開催ができるよう、CCCの皆さんのお力をお借りしたいと思います。育児をしながら受講に励んでいる方々のお手伝いをしてみませんか？次期開催会場でも、託児付きが開催できるようにご協力よろしくお願い申し上げます。ご興味のある方は、CC本部にご連絡ください。

*Thanks!

今までに託児ボランティアに入ってくださった皆さんです。ご協力ありがとうございました。

●東京会場●
濱崎 由美さん
伊藤 容子さん
八木 ちなつさん
白岩 暖美さん
石井 直美さん
（以上CCCグループ「エプロン☆おばさん」）
田中 浩子さん
斉藤 美香さん

●名古屋会場●
加藤 佐江子さん

●大阪会場●
藤野 智子さん
増田 実佐子さん
辻井 好美さん

●札幌会場●
深沢 千恵子さん

●福岡会場●
三宅 かおるさん
鈴木 朋子さん

●石井 直美さん（東京会場）
とても学びや気づきの多いスクーリングです。まだ一度も受講されていない方は、私たちがお子さんのお世話をしますので一度いらしてみてください。

●白岩 暖美さん（東京会場）
託児ボランティアの仲間が増えれば、たくさんの智恵も出て、チャイルドケアならではの託児の提案ができると思います。私たち託児ボランティアグループは、メンバーで交替してスクーリングにも参加でしながらスキルアップを図っています。仲間と協力しながら活動をしていますので、ぜひ、東京近郊のCCCの皆さん、一緒に活動していきませんか？

●加藤 佐江子さん（名古屋会場）
小さなお子さんがいるからと、参加に不安をもっている皆さん、私たち託児ボランティアが、スクーリングの間、お子さんを同じ部屋でお預かりしますので、どうぞ安心してご参加してください。

●深沢 千恵子さん（札幌会場）
自分の子どもを連れて託児ボランティアとして入らせていただき、とても良い経験となりました。北海道の皆さん、少しでも多くの方が参加できるよう、私たちにもできることを探して、一緒に託児ボランティアをしてみませんか？

託児ボランティアの応募方法と流れ

1 スクーリング日程より、託児に入る会場と日にちを確認。

▼

2 CC本部に、電話申し込みをする。（申込期日：各会場開催の1ヶ月前まで）

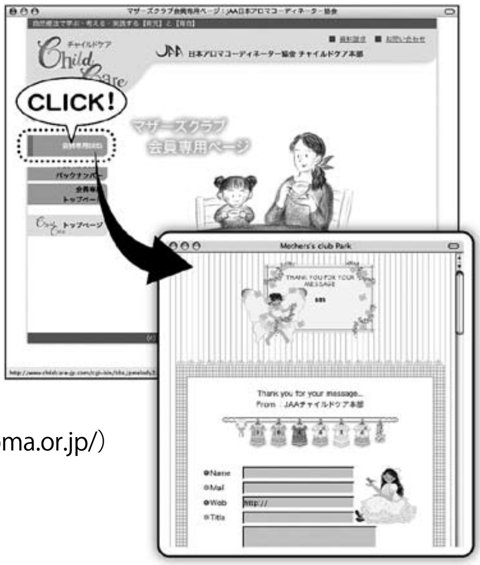
▼

3 開催約1ヶ月前に、託児状況などの詳細・諸準備についてお伝えします。

BBS

チャイルドケアのホームページ BBSをご存知ですか？

通信講座のため他の方と交流をする機会も少ないと思います。そこでおすすめするのが、チャイルドケア専用のホームページ内にある掲示板（BBS）です。皆さんの意見を聞きたい時に、仲間作りや呼びかけ等に、ぜひご利用ください。



BBSのアクセス方法

日本アロマコーディネーター協会　公式サイト（http://www.jaa-aroma.or.jp/）

トップページ「チャイルドケアホームページ」ボタン　クリック

→チャイルドケアホームページ（http://www.childcare-jp.com）

トップページ「マザーズクラブ会員専用」ボタン　クリック

→ログインID（ユーザー名）パスワード入力　※IDとパスワードは本誌巻末参照

→トップページ「会員専用BBS」ボタン　クリック

BBS

お友達募集コーナー
―広げようチャイルドケアの輪！―

本誌では、チャイルドケアの仲間同士の交流をサポートしています。本誌が届く全てのMC会員の方が、このコーナー利用することができます。

例えば……

- ●スクーリングに参加する機会が持てない方
- ●お住まいの近くで仲間を作りたい方

からのメッセージコーナーとして、あるいは、

- ● CCCグループの立ち上げの呼びかけ
- ● CCCグループ活動の参加呼びかけ
- ●スクーリングの託児ボランティアの呼びかけ
- ● JAA主催「親子イベント」開催のためのボランティアスタッフの呼びかけ

などなど、個々で行っているチャイルドケアから、仲間で行うチャイルドケアへ、全国にチャイルドケアの輪を広げていきましょう。
随時ピーカーブーに掲載いたします。

◆投稿方法◆

①下記の内容を記入のうえ写真を添えて、郵送にてご投稿ください。

■種別（受講生／CCC／CCI）　■お名前
■自己PRとメッセージ（300字以内）
■連絡先（公開可能な範囲）
（住所・TEL・FAX・携帯・携帯メール・PCメール）

【あて先】
150-0001　東京都渋谷区神宮前1-15-15　原宿佐野ビル2F
日本アロマコーディネーター協会　CC本部「ピーカーブー」係

②投稿後、CC本部より掲載についてのご連絡をいたします。連絡可能な連絡先と時間帯をお知らせください。

③紙面掲載の最終確認をしていただき、ピーカーブーが届くのをお待ちください。

次号ピーカーブー（10月発行）
投稿締切：2009年9月11日（金）まで
※締切以降の応募は、次々号（来年2月発行）の掲載になります。

CCIが行う

親子イベント＆ビギナースクーリングのご案内 in 東京

本誌P2～5掲載のCCIが、親子イベントと秋のスクーリングのビギナー編を担当します。本講座の概念を把握したCCIならではのアイデアが満載です。どちらも、チャイルドケア未受講の方も参加できますので、ぜひお友達と一緒にお越しください。

8/28　夏休み親子イベント　チャイルドケア再発見！

「親子で楽しむチャイルドケアと夏の思い出づくりに」をテーマに、テキストにある実習を皆さんと一緒に行ってみたいと思います。テキストの実習になかなか取り組めないでいる方や不安がある方も、一緒に行ってみることで、自宅で気楽に、簡単に楽しめることが分かると思います。親子で楽しんで、そして、素敵な夏の思い出にしてみませんか？

●担当　CCI 金子 法子
　　　CCI 濱崎 由美

●内容　①白湯を飲んでみる
　　　②手作りアロマ粘土

●日時　8月28日（金）
10：00～12：00
受付9：30～

●場所
カルチャーキューブ渋谷校　A教室

●定員　30組
※10組未満の場合は、開催中止となります。ご了承ください。

●子ども対象年齢
4才～小学校低学年

●参加費用（親、子ともに1名の場合）
MC会員／ 2,000円
JAA正会員／ 2,500円
一般／ 3,000円

※対象年齢より上のお子さんの参加も可能です。（お申し込みの際、年齢をお知らせください。）
※お子さんが2名以上になる場合は、プラス300円／人を当日徴収します。

●申込締切　8月10日（月）

当日のお手伝いをしてくれるCCCも募集します！

当日の内容：対象年齢以外の小さなお子さんの託児、実習のサポート等
※お手伝い希望の方は、参加費無料です。
※7月末までに、お電話でお申し込みください。

9/6・12/4　東京・ビギナー編スクーリング

● 9月6日（日）10：00～12：00
担当　CCI 濱崎 由美
● 12月4日（金）10：00～12：00
担当：CCI 金子 法子

● 参加費用
MC会員／ 3,000円
JAA正会員／ 4,000円
一般／ 5,000円

※ 同日の午後、スキルアップ編は、チャイルドケア講師松本美佳先生のスクーリングです。
※ お申し込みについては、本誌最終ページをご覧ください。

沖縄の皆さん、お待たせしました！

沖縄で２回目のスクーリングを開催させましょう。

CCI仲宗根さんが発起人となって、11月～12月に2回目のスクーリング開催に向けて準備をすすめています。日程などの詳細は、次号ピーカーブー・ホームページでお知らせします。沖縄地域の皆さんは、ぜひこの機会にご参加ください。（参加人数20名以上での開催となります。）

CCI 仲宗根 千賀子さんより

松本先生のお話しは心に響くことがいっぱいあります。２回目のスクーリングの成功に向けて盛り上げていきましょう！！ 先生と沖縄の皆さんにお会いする日を心待ちにしています！

スクーリング情報
2009年 下半期スケジュール

【年1回開催】
●**仙台**　7/20（祝・月）
●**札幌**　8/9（日）
※前号 No.21 より日程が変更となりました。
ここにお詫びと訂正を申し上げます。

【定期開催】
●**東京**　9/6（日）・12/4（金）
●**名古屋**　9/27（日）
●**大阪**　11/21（土）
●**福岡**　11/29（日）

【ビギナー編】 10：00 ～ 12：00
◆**内容**　チャイルドケアで伝えたい「7つの基本コンセプト」を中心とした講義です。受講中の方やこれから受講を始める方にもお勧めです。基本概念をしっかり習得するための内容で、何度も参加することができます。
◆**費用**　MC 会員／ 3,000 円
JAA 正会員／ 4,000 円
一般／ 5,000 円
◆**講師**　松本 美佳または CCI
※東京会場（両日）は CCI が講師を務めます。（詳細は P.15 をご覧ください。）

【スキルアップ編】 13：30 ～ 16：00
全3回完結で行っているスキルアップですが、特別編として今後のチャイルドケアの展開となる見守るケア、看取るケアの概要についてお話します。また、後半では、要望の多かった参加者のための交流会を設け、意見、情報交換など行い、コミュニケーションを図っていきます。
◆**内容**
・見守るケア、看取るケアについて
・コミュニケーションを図るための交流会
◆**参加条件**
・CCC の方及び CCC を目指す方
・CCI の方及び CCI を目指す方
・スクーリングに一回以上参加されている方（当日含む）
・ガイドブックを熟読されている方
※お持ちでない方は事前にご購入ください。（代金引換にて）
◆**費用**　3,500 円
◆**講師**　松本 美佳

仙台と札幌のスキルアップ編の内容は下記の通りです。
スキルアップ（後編）
テキスト該当章：第5～7章
※監修・松本安彦先生を招いて行います。
◆**時間**　13：30 ～ 17：00
◆**費用**　5,500 円（材料費込み）
◆**対象者**　① MC 会員　②ビギナー編参加者（1回以上・同日含む）③ガイドブック購入者
※当日購入または事前お届け（代引 6,300 円）
◆**講師**　松本 美佳・松本 安彦

【申し込み窓口】　日本アロマコーディネーター協会
TEL/03-5413-1260　お電話にて申込み後、参加費用を下記の口座へお振込みください。
◎三菱東京 UFJ 銀行　池袋東口支店 普通 1920305　日本アロマコーディネーター協会
◎ゆうちょ銀行　00170-4-122869　日本アロマコーディネーター協会

【スクーリング規定事項】
◎ 参加者が 20 名以下の場合、開催中止となることがあります。開催の可否は、各会場 2 週間前に決定しますので、間際の申し込みは避け、できるだけお早めにお申し込みください。
◎ 開催日当日のお申し込みは受け付けておりません。
◎ 東京会場以外での平日開催は、多数の要望及び今年 1 年間の参加状況により検討いたします。

【キャンセルについて】
◎ お申し込み後のキャンセルは、各会場 1 週間前（土日祝を除く）までにご連絡ください。
◎ 開催 1 週間以内のキャンセルについては費用の返金できません。予めご了承ください。

【託児について】
◎ 託児は CCC の有志によって成り立っており、会場の同室内で行います。託児希望の方は、お電話にて託児の可否をご確認ください。※各会場 1 ヶ月前に決定します。
◎ 託児ボランティアがおらず託児不可の場合や、お子さんの年齢により託児を要しない等、隣席での参加も可能です。

託児ボランティアを随時募集しています！
申込期日：各会場開催日の 1 ヶ月前まで
◎ CCC の方で、スクーリングを過去に 1 回以上参加している方でしたらどなたでも可能です。
◎ 当日はガイドラインを目安に行っていただきます。場合により、ご自分のお子さんと同伴しながらボランティアに入ることも可能です。

★チャイルドケア・コーディネーターライセンス取得
おめでとうございます！
新たに CCC になられた皆さんです。今後の更なるご活躍を心よりお祈りしています。

林ひろみ／石川広美／城島恭子／高美真理／宇佐芳恵／桑原るみ子／林里美／森泉広美／辻美保／服部貴江／平川恵美／伊藤文代／田中浩子／濱田良子／廣瀬有香／村上貴美子／高崎留美子／笹淵美佳／河村幸恵／三國貴子／富原千佳／山崎愛／北川博子／西山弘恵／岡田恵美子／宮本あゆみ／清水明子／福田かすみ／平城英里／小川千恵／野勢真祐美／津田美恵／小笠原秋／宮田美幸／斉藤美香／勝山真紀子／青木暁歩／小笠原理江／中村紗矢香／西田理香／吉田幸江／中原雅子／久保貴子／渡辺あおい／廣瀬えり／小松鈴子／田村宏美／平松保子／宮戸律子／貞廣裕理／小木曽美穂／名嘉原洋江／根岸典子／井上美穂／辻千恵／有田明恵／篠爪由美子／佐藤麗（敬称略／ 2009.2/15 ～ 2009.6/1 付　58 名）

MC 会員の更新手続き

下記の受講番号に該当する方は、今後のレポート提出には MC 会員の更新が必要となります。（更新手続き書類 7 月上旬郵送）
なお、更新希望をされない場合は、次号より本誌ピーカーブーのお届けもストップします。予めご了承ください。

受講番号（最初の 5 桁）
AC07-5 ／ AC07-6 ／ AC07-7 ／ AC07-8 ／ AG07-5 ／ AG07-6 ／ AG07-7 ／ AG07-8 ／ AL07-5 ／ AL07-6 ／ AL07-7 ／ AL07-8 ／ C008-5 ／ C008-6 ／ C008-7 ／ C008-8

※本誌面作成で特にご協力いただいた方へは、感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈呈させていただきます。

日本アロマコーディネーター協会
チャイルドケア本部
〒 150-0001　東京都渋谷区神宮前 1-15-15　原宿佐野ビル２Ｆ
TEL. 03-5413-1260　FAX. 03-5413-7080　E-mail:info@childcare-jp.com　URL/ www.childcare-jp.com/
〈MC 会員専用ページログイン方法〉
ログイン ID ／ CC パスワード／ mckaiin